特定非営利活動法人ささしまサポートセンター

2017 年度　通常総会議案書

定款第 24 条、第 25 条に基づき 2017 年度通常総会を下記により開催いたします。

【日時】2017 年 5 月 21 日 (日) 17 時～18 時 30 分

【場所】名古屋市中村区羽衣町 10

開運堂ビル 2 階　開運ホール

2017 年 5 月 11 日

NPO 法人ささしまサポートセンター　理事長　森　亮太

第一号議案　2016 年度事業報告（案）

2016 年 4 月から 2017 年 3 月までの間に当法人が実施した事業の概要は以下の通りです。

１．ささえるプロジェクト

ささえるプロジェクトは、当法人の自主事業のうち、ホームレスをはじめとする生活困窮者の生活問題を解決するための、個別的な支援活動の総称です。

（１）事務所生活相談

毎週月曜・金曜の 9：30～12：30、水曜日の 14：00～17：00 に、事務所での生活相談を行いました。延べ 1630 名が来所し、生活上の相談に応じ、日常的な居場所として事務所を利用しました。

（２）炊き出し時の生活・健康相談

毎週木曜日の 18：30～21：00 に、若宮大通公園のゲートボール場で行われる炊き出し会場にて、生活・健康相談を実施しました。相談者数は延べ 465 名で、1 回あたりの相談者数は 9.1 人と、昨年に比べて増加しました。

（３）巡回相談

原則として毎月第 2 日曜日の午前中に、名古屋市内の公園や河川敷などを訪問する巡回相談を実施しました。訪問件数は延べ 283 件でした。また、これとは別に、年末年始の越冬活動期間中にも巡回相談を実施しました。

また、第 4 土曜日の夜間に名古屋駅周辺の巡回相談を実施し、延べ 300 件の訪問をしました。巡回相談を実施している他の民間団体や行政職員とのミーティングも実施しています。

（４）同行支援

関係機関への同行支援を随時実施しました。特に、相談者数の多い中村区社会福祉事務所への付き添いは、毎週月曜日と金曜日に定期的に実施しました。

また、更生施設植田寮入所者への訪問活動も、原則月 1 回実施しました。退所後の生活などについて相談を受けました。面会した人数は、延べ 40 名でした。

（５）継続支援

継続的な個別支援を行っているケースについて、スタッフが一人で抱え込むことなく支援方針などを共有することを目的に、個別支援ミーティングを毎月１回実施しました。

（６）中間施設の運営

すぐにアパート生活に移行することが困難な人を対象とした中間施設を運営しました。中間施設には、①緊急的な居住場所を提供するシェルターと、②中期的に入所するステップハウスみちくさの２種類があります。

シェルターは、中村区内のアパート２室を借り上げて無償で提供しました（１月からは１室）。ステップハウスみちくさは、事務所２階の１つの居室と事務所近くのアパート１室を借り上げて実施しました。

２．つながるプロジェクト

つながるプロジェクトは、当法人の自主事業のうち、ホームレスや元ホームレスの人たちの居場所づくりや地域参加を進めるための活動の総称です。

（１）居宅者交流会

居宅生活に移行した人などの交流の場として、下記の取り組みを行いました。

①オリーブの会：月に１回、中村区内の公共施設を借用し、食事会や交流会を実施しました。参加者数は、食事会が延べ 58 名、交流会が延べ 96 名でした。

②あゆみの会：毎月第１土曜日に開催される自助グループ「あゆみの会」にスタッフがオブザーバーとして参加しました。定例会に代えて、花見会、積立金によるバス旅行、新年会なども実施しました。

③何やろミーティング：当事者の意見を聞きながらイベントを企画するミーティングを４月に実施し、遠足、ボウリング大会などを企画しました。

④軒下まつり：11 月に、地域向けイベント「軒下まつり」を開催しました。今年度は、事務所周辺に加え、大門横丁も会場として、日本福祉大、同朋大の学生の協力も得て、行燈や灯篭の飾りつけ、ワークショップ、ミニライブなどを実施しました。

⑤サロン活動：事務所のスペースを利用して、囲碁・将棋・麻雀の会や絵画教室、衣類提

供などを実施しました。

⑥みちくさカフェ：毎月第 4 土曜日に、事務所で軽食提供とセットにした健康相談を実施しました。参加者数は延べ 260 人で、毎回平均 21.7 人が参加しました。

（２）就労支援活動

生活保護を受給している人などの就労準備を支援するための活動として、「お手伝い隊」と駄菓子販売の 2 つの活動に取り組みました。「お手伝い隊」は、中村公園の清掃活動を月 2 回、大門商店街周辺の清掃活動を月 1 回実施しました。また、5 月には太閤まつりの清掃活動、7 月には中村公園夏祭りでの行灯点灯活動、8 月には Omon Fes 2016 の警備、ワークショップなど、様々な機会に当事者が活躍しました。

駄菓子販売は、概ね月 2 回実施したほか、地元のお祭りなどでも出店し、計 24 回開店しました。年間の売り上げは 84,185 円になりました。

（３）アパート訪問

生活保護を受給しているホームレス経験者が孤立しないよう、安否確認と傾聴を目的としたアパート訪問活動を実施しました。訪問件数は、電話による安否確認も含め延べ 130 人、うち実際に面会できたのは 81 人でした。

３．委託事業等

当法人では、行政からの委託事業として、以下の 3 つの事業を実施しました。また、貧困問題やホームレス問題への市民的理解を広げるための啓蒙啓発活動にも取り組みました。

（１）アフターフォロー事業“あしたば”(地域生活支援巡回相談・家計相談支援事業)

名古屋市からの委託を受け、一時保護所を退所してアパート生活に移行した人たちが再び野宿に戻ることのないよう支援するアフターフォロー事業と被保護世帯の家計相談支援事業に取り組みました。アフターフォロー事業の年間利用者数は 115 世帯、家計相談支援事業の年間利用者数は 39 世帯でした。

（２）学習支援事業“Smyle”(中学生の学習支援事業)

名古屋市からの委託を受け、生活保護世帯の中学生への学習支援事業を実施しました。週 2 回実施し、年間 72 回の教室を開催しました。中学 3 年生は、全員無事希望の高校に進学しました。

学習教室のほか、8 月には餃子クッキングパーティー、12 月にはプチクリスマス会、3 月にはお疲れ様会など、居場所支援の取り組みも行いました。

（３）啓蒙啓発事業

ホームレス問題や貧困問題への市民的理解を広げるための啓蒙啓発事業にも取り組みました。毎年開催している市民フォーラムは、3 月 12 日に「罪を犯した人を地域でどう支えるか」をテーマに開催し、浜井浩一氏（龍谷大学）の講演とシンポジウムを行いました。約 60 名の参加がありました。

４．重点課題への取り組み

（１）活動資金の安定化

委託金や助成金によって法人の財政規模は大きくなっている一方で、会費・寄付金収入が減少していることから、自主財源を増加させ安定した財政基盤を作ることを重点課題としました。

寄付するだけでなく事業運営にも意見を出してもらう「包摂ファンドパートナー」を募集するなど一定の取り組みは試みましたが、認定ＮＰＯ法人格の取得やホームページのリニューアルなど、計画していた取り組みはできないままになってしまいました。2016 年度も引き続き寄付金収入は少なく、安定財源の確保は継続課題になっています。

（２）ボランティアスタッフの確保

コーディネーターの配置によって相談支援体制が充実した一方で、相談者が質・量ともに拡大していることから、私たちの活動に賛同してくれる人を増やし、活動に継続的に参加してもらうための取り組みを進めることを重点課題としました。

ボランティア募集を目的に、活動紹介と活動体験、振り返りをワンセットで行うボランティア説明会を 2 度実施し、活動参加者の拡大と定着に貢献することができました。従来から丁寧なボランティア募集をしてきたアパート訪問活動では、今年度も多くの新しいボランティアスタッフが参加し、活動を活性化してくれました。

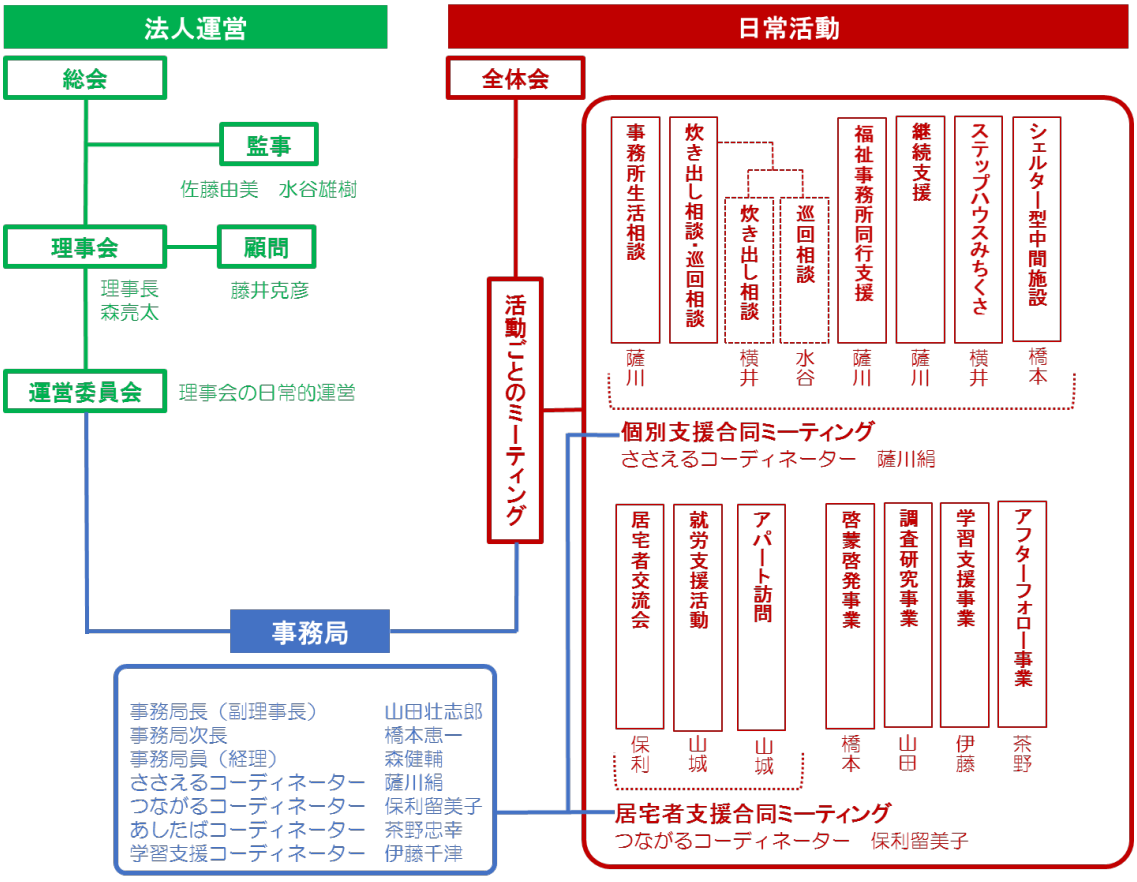
（３）診療事業との連携

2016 年度より、医療法人八事の森・杉浦医院の精神科医・看護師が当法人の相談対象者のうち在宅で生活する精神疾患患者の訪問診療を行う取り組みが始まったことから、この事業と当法人の従来活動が有機的に連携できるような仕組みを作ることを重点課題としました。

杉浦医院の事業によって当法人の相談者が訪問診療を受けられることになり、徐々に軌道

に乗ってきました。当法人も、職員を杉浦医院に出向させる形で事業に参画しています。また、対象となる患者の生活相談や居場所づくりは当法人の従来活動が担うなど、両者の有機的な連携が図られつつあります。

ささしまサポートセンター組織図（2016 年度）



第二号議案　2016 年度決算報告（案）

○　トピックス

＜収入の部＞

- 受け取り会費が予算（100 万）に比べ 26 万と大幅なマイナスとなりました。
- 同様に受け取り寄付金が予算比 147 万のマイナスとなりました。
- 日常的に、活動を発信する機会を増やし、活動の周知、広報を行うことによって、ボランティア等活動へ参加する人（数、質）の増加、それに伴い、活動が認知されることによって団体への寄付等も増加していけるように、次年度は発信を増やし団体収入の増加を目指します。
- 受け取り助成金は、あいちモリコロ基金が採択され「つながるプロジェクト」を中心とした活動が展開できました。
- 受託事業収入では、前年度に引き続き、名古屋市地域生活支援巡回相談事業（アフターフォロー、家計相談）、名古屋市中学生の学習支援事業、医療機関との連携事業、調査研究の委託を受けました。
- 全体を通じて、予算に対し 18 万程度のマイナスとなりました。

＜支出の部＞

- 支出においては、名古屋市地域生活支援巡回相談事業におけるシステム構築として、年度当初の予算で立てていなかった費用が発生し事業費における「業務委託費」の額が増額しました。
- 消耗品費は予算に比べ半分以下の執行となりました。
- 地代家賃、賃借料は決算時に合わせて表示しています。年度途中で、2016 年度自主財源で行なっていたシェルター事業における解約に伴い家賃分の費用が減少しました。年度中、アパートを経営する家主さんの申し出により、2017 年度は中間施設「ステップハウスみちくさ岩塚」の運営（うち 4 部屋を中間施設、2 部屋をシェルターとして）運営を開始いたしました。
- 予算時、管理費として計上した医療機関との連携事業職員人件費を「その他目的達成必要事業収益」とし、全額を事業費としたため、管理費予算（人件費）は支出ゼロとなりました。
- 年度末の正味財産減少分を 615 万としておりましたが、結果として半分の 310 万となりました。しかし、赤字には変わらないために、2017 年度は赤字幅を、自主財源収入の増加、支出の減少によって減少させていくことを目指します。

第二号議案 2016年度 ささしまサポートセンター 決算報告(案)

活動計算書

[税込](単位:円)

特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター　　自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日

		実績		予算	増減
【経常収益】					
【受取会費】				1,000,000	△ 733,400
会費(正会員)	137,600			400,000	△ 262,400
会費(賛助会員)	129,000	266,600		600,000	△ 471,000
【受取寄付金】					
受取寄付金		3,525,704		5,000,000	△ 1,474,296
【受取助成金等】					
受取助成金		3,410,000		3,410,000	0
【事業収益】					
生活・医療相談事業収益	1,632,000				
地域生活支援・居場所づくり事業収益	71,260				
就労支援事業収益	126,315				
居住支援事業収益	937,777				
啓発・啓蒙支援事業収益	2,579,700			1,200,000	
その他目的達成必要事業収益 ★	35,353,437	40,700,489		37,507,600	3,192,889
【その他収益】					
受取 利息	775			2,000	
雑 収 益	128,788	129,563		100,000	
経常収益 計			48,032,356	48,219,600	△ 187,244
【経常費用】					
【事業費】					
(人件費)					
給料 手当(事業)	29,871,415				
通 勤 費(事業)	1,728,649				
法定福利費(事業)	3,924,538				
福利厚生費(事業)	73,594				
人件費計	35,598,196			33,630,000	1,968,196
(その他経費)					
駄菓子等仕入(事業)	0			50,000	△ 50,000
食糧費(事業)	0			150,000	△ 150,000
リース 料(事業)	274,320			200,000	74,320
業務委託費(事業)	2,139,274			750,000	1,389,274
諸 謝 金(事業)	1,022,767			2,500,000	△ 1,477,233
印刷製本費(事業)	388,037			650,000	△ 261,963
会 議 費(事業)	196,332			200,000	△ 3,668
旅費交通費(事業)	2,009,735			2,000,000	9,735
郵便運送費(事業)	680,886				
通信通話料(事業)	846,784			1,200,000	327,670
物品資材費(事業)	291,268			30,000	261,268
消耗品 費(事業)	1,181,432			3,000,000	△ 1,818,568
修 繕 費(事業)	162,458			0	162,458
水道光熱費(事業)	527,511			500,000	27,511
地代 家賃(事業)	3,766,760				
賃 借 料(事業)	521,117			4,100,000	187,877
保 険 料(事業)	160,290			200,000	△ 39,710
租税 公課(事業)	330,400			0	330,400
研 修 費(事業)	163,590			200,000	△ 36,410
手 数 料(事業)	206,226			130,000	76,226
雑　費(事業)	37,100			40,000	△ 2,900
その他経費計	14,906,287			15,900,000	△ 993,713
事業費 計		50,504,483		49,530,000	974,483
【管理費】					

活 動 計 算 書

[税込](単位:円)

特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター				自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日	
(人件費)					
人件費計	0			3,200,000	△ 3,200,000
(その他経費)					
地代 家賃	195,000			400,000	△ 205,000
諸謝金	0			30,000	△ 30,000
業務委託費	6,000			0	6,000
印刷製本費	73,440			100,000	△ 26,560
会 議 費	4,148			10,000	△ 5,852
旅費交通費	34,425			10,000	24,425
郵便運送費	38,619			300,000	△ 261,381
通信通話料	3,240			70,000	△ 66,760
消耗品 費	87,572			100,000	△ 12,428
修繕費	0			10,000	△ 10,000
水道光熱費	25,495			90,000	△ 64,505
賃 借 料	21,000			15,000	6,000
諸 会 費	34,200			40,000	△ 5,800
支払い寄付金	0			5,000	△ 5,000
リース料	0			90,000	△ 90,000
租税 公課	21,200			100,000	△ 78,800
手 数 料	65,070			90,000	△ 24,930
管理 諸費	21,600			130,000	△ 108,400
雑費	0			50,000	△ 50,000
その他経費計	631,009			**1,640,000**	△ 1,008,991
管理費 計		**631,009**		**4,840,000**	△ 4,208,991
経常費用 計			**51,135,492**	**54,370,000**	△ 3,234,508
当期経常増減額			△ 3,103,136	△ 6,150,400	
【経常外収益】					
経常外収益 計			0		
【経常外費用】					
経常外費用 計			0		
税引前当期正味財産増減額			△ 3,103,136		
法人税、住民税及び事業税			68,500		
当期正味財産増減額			△ 3,171,636		
前期繰越正味財産額			12,772,360		
次期繰越正味財産額			9,600,724		

第二号議案 2016年度 ささしまサポートセンター 決算報告(案)

財 産 目 録

特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター　　[税込](単位:円)
全事業所　　平成29年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】				
(現金・預金)				
現　金		250,000		
当座 預金		8,181,198		
ゆうちょ振替口座		(8,181,198)		
普通 預金		4,511,893		
UFJ銀行(一般)		(1,753,352)		
UFJ銀行(ｱﾌﾀｰﾌｫﾛｰ)		(997,771)		
ゆうちょ銀行		(404,670)		
瀬戸信用金庫		(1,356,100)		
現金・預金 計		12,943,091		
(売上債権)				
未 収 金		314,496		
名古屋市健康福祉局	学習支援受託事業 高校生分	(314,496)		
売上債権 計		314,496		
(その他流動資産)				
前払 費用		375,040		
積和不動産中部㈱	家賃 平成29年4月分	(41,040)		
スターツアメニティ	家賃 平成29年4月分	(38,200)		
中央興産㈱	家賃 平成29年4月分	(90,000)		
今枝忠厚	家賃 平成29年4月分	(145,800)		
平沼元孝	家賃 平成29年4月分	(60,000)		
前 払 金		218,428		
名古屋市 中村生涯学習センター	会場借賃 平成29年4月分	(35,000)		
名古屋市 日吉ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ	会場借賃 平成29年4月16日分	(1,700)		
平沼元孝	礼金 平成29年4月より賃貸分	(180,000)		
その他		(1,728)		
預 け 金		2,000		
名古屋市交通局	マナカデポジット	(2,000)		
立 替 金		129,315		
従業員1名	健康保険料等	(129,315)		
その他流動資産 計		724,783		
流動資産合計			13,982,370	
【固定資産】				
(投資その他の資産)				
保 証 金		427,000		
積和不動産中部㈱	みちくさ住居用マンション	(37,000)		
スターツアメニティ	亀島事務所	(30,000)		
中央興産㈱	大門事務所兼あしたば住居用建物	(360,000)		
投資その他の資産 計		427,000		
固定資産合計			427,000	
資産の部 合計				14,409,370

《負債の部》

【流動負債】				
未払 費用		3,292,351		
従業員	平成29年3月分給料・立替等	(3,202,468)		
中部電力	平成29年3月分 電気料金	(16,280)		
東邦ガス	平成29年3月分 ガス料金	(1,945)		
ソフトバンクモバイル	平成29年3月分 携帯電話料金	(3,618)		
東京センチュリーリース㈱	平成29年3月分 リース料	(12,960)		
セントラル	平成28年度分 パソコン年間メンテナンス料	(38,880)		
黒田公認会計士事務所	平成29年3月分 顧問料	(16,200)		
未 払 金		952,491		
名古屋市 健康福祉局	平成28年度 アフターフォロー事業 受託料精算分	(300,727)		
名古屋市 健康福祉局	平成28年度 学習支援事業 受託料返還分	(267,799)		
研修講師 8名	講師謝金等	(157,426)		
日本郵便㈱	平成29年 3月分 郵送代	(106,144)		
名鉄協商㈱	平成29年 3月分 カーシェアリング代	(6,144)		
東京センチュリーリース㈱	平成29年 3月分 複合機カウンター料金	(2,158)		
セントラル	平成29年 3月分 パソコンメンテスポット料金	(54,000)		
ASKUL㈱	平成29年 3月分 消耗品購入代金	(43,189)		
その他		(14,904)		
預 り 金		165,804		
	社会保険料	(89,792)		
	雇用保険料	(76,012)		
未払法人税等		68,500		
未払消費税等		329,500		
流動負債 計			4,808,646	
負債の部 合計				4,808,646
正味財産				9,600,724

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター　　平成29年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【事業別損益の状況】

事業別損益の状況は<別紙>のとおりです。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込](単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金	-	3,410,000	3,410,000	-	(愛称:あいちモリコロ基金)
合計	-	3,410,000	3,410,000	-	

【固定資産の増減内訳】

[税込](単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
積和不動産中部㈱	37,000	-	-	37,000	-	37,000
スターツアメニティ	30,000	-	-	30,000	-	30,000
中央興産㈱	360,000	-	-	360,000	-	360,000
大東建物管理㈱	30,000	-	30,000	-	-	-
合計	457,000	-	30,000	427,000	-	427,000

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込](単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄付金	3,525,704	89,000
生活・医療相談事業収益	1,632,000	1,632,000
啓発・啓蒙支援事業収益	2,579,700	2,489,200
諸謝金(事業)	1,022,767	687,130
活動計算書計	8,760,171	4,897,330

貸借対照表

特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター
全事業所

[税込](単位:円)
平成29年 3月31日 現在

	《資産の部》		
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	250,000		
当座 預金	8,181,198		
普通 預金	4,511,893		
現金・預金 計	12,943,091		
(売上債権)			
未 収 金	314,496		
売上債権 計	314,496		
(その他流動資産)			
前払 費用	375,040		
前 受 金	218,428		
預 け 金	2,000		
立 替 金	129,315		
その他流動資産 計	724,783		
流動資産合計		13,982,370	
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
保 証 金	427,000		
投資その他の資産 計	427,000		
固定資産合計		427,000	
資産の部 合計			14,409,370
	《負債の部》		
【流動負債】			
未払 費用	3,291,351		
未 払 金	952,491		
預 り 金	165,804		
未払法人税等	68,500		
未払消費税等	329,500		
流動負債 計		4,808,646	
負債の部 合計			4,808,646
	《正味財産の部》		
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	12,772,360		
当期正味財産増減額	△ 3,171,636		
正味財産 計		9,600,724	
正味財産の部 合計			9,600,724
負債・正味財産合計			14,409,370

監査報告書

特定非営利活動法人ささしまサポートセンター
理事長　森　亮太　殿

特定非営利活動法人ささしまサポートセンター
第５期事業年度（平成２８年４月１日～平成２９年３月３１日）

上記にかかる活動計算書・貸借対照表・財産目録を監査した結果、適正・適法に処理、記載されていると認めます。

平成29年 4月28日

特定非営利活動法人ささしまサポートセンター

監事　佐藤由美　印

監事　　印

第3号議案 ささしまサポートセンター2017年度 予算(案)

活 動 予 算 書

[税込](単位:円)

特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター　　自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

	実績			予算
【経常収益】				
【受取会費】				700,000
会費(正会員)	137,600			400,000
会費(賛助会員)	129,000	266,600		300,000
【受取寄付金】				
受取寄付金		3,525,704		5,000,000
【受取助成金等】				
モリコロ基金		3,410,000		
受取助成金(地域福祉リーディングモデル事業)				1,250,000
【事業収益】				
生活・医療相談事業収益	1,632,000			1,632,000
地域生活支援・居場所づくり事業収益	71,260			71,000
就労支援事業収益	126,315			150,000
居住支援事業収益	937,777			2,140,400
啓発・啓蒙支援事業収益	2,579,700			100,000
その他目的達成必要事業収益 ★	35,353,437	40,700,489		39,914,400
名古屋市地域生活巡回相談支援事業				29,845,400
名古屋市子どもの学習支援事業				10,069,000
【その他収益】				
受取 利息	775			2,000
雑 収 益	128,788	129,563		100,000
経常収益 計			48,032,356	51,059,800
【経常費用】				
【事業費】				
(人件費)				
給料 手当(事業)	29,871,415			
通 勤 費(事業)	1,728,649			
法定福利費(事業)	3,924,538			
福利厚生費(事業)	73,594			
人件費計	35,598,196			33,593,478
(その他経費)				
駄菓子等仕入(事業)	0			0
食糧費(事業)	0			0
リース 料(事業)	274,320			0
業務委託費(事業)	2,139,274			1,624,840
諸 謝 金(事業)	1,022,767			1,005,000
印刷製本費(事業)	388,037			390,408
会 議 費(事業)	196,332			189,000
旅費交通費(事業)	2,009,735			3,639,600
郵便運送費(事業)	680,886			2,087,640
通信通話料(事業)	846,784			0
物品資材費(事業)	291,268			406,700
消耗品 費(事業)	1,181,432			870,400
修 繕 費(事業)	162,458			160,000
水道光熱費(事業)	527,511			590,000
地代 家賃(事業)	3,766,760			3,738,600
賃 借 料(事業)	521,117			1,359,800
保 険 料(事業)	160,290			1,049,940
租税 公課(事業)	330,400			0
研 修 費(事業)	163,590			260,000

活 動 予 算 書

[税込](単位:円)

特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター　　自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

手 数 料(事業)	206,226			0
雑　費(事業)	37,100			620,834
その他経費計	14,906,287			17,992,762
事業費 計		50,504,483		51,586,240
【管理費】				
(人件費)				
人件費計	0			0
(その他経費)				
地代 家賃	195,000			0
諸謝金	0			0
業務委託費	6,000			0
印刷製本費	73,440			0
会 議 費	4,148			0
旅費交通費	34,425			0
郵便運送費	38,619			0
通信通話料	3,240			0
消耗品 費	87,572			0
修繕費	0			0
水道光熱費	25,495			0
賃 借 料	21,000			0
諸 会 費	34,200			0
支払い寄付金	0			0
リース料	0			0
租税 公課	21,200			0
手 数 料	65,070			0
管理 諸費	21,600			0
雑費	0			50,000
その他経費計	631,009			50,000
管理費 計		631,009		50,000
経常費用 計			51,135,492	51,636,240
当期経常増減額			△ 3,103,136	△ 576,440
【経常外収益】				
経常外収益 計			0	
【経常外費用】				
経常外費用 計			0	
税引前当期正味財産増減額			△ 3,103,136	
法人税、住民税及び事業税			68,500	
当期正味財産増減額			△ 3,171,636	
前期繰越正味財産額			12,772,360	
次期繰越正味財産額			9,600,724	

第四号議案　2017 年度事業計画（案）

特定非営利活動法人ささしまサポートセンター

平成 29 年度事業計画書

1　事業実施の方針

特定非営利活動法人ささしまサポートセンターは、野宿者をはじめとする生活困窮者がその人らしい生活を営めるよう、個々に寄り添いながら医療・生活上の支援を行い、誰もが地域で共に生きられ、居場所をもてるような社会を目指して活動することを目的として、下記の事業を計画実施する。

具体的には、本法人の定款第 5 条第 1 項の事業として、生活・医療相談事業、地域生活支援・居場所づくり事業、就労支援事業、居住支援活動事業、啓発・啓蒙事業、その他この法人の目的を達成するために必要な事業を実施する。

2　事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

ア　生活・医療相談事業

（ア）事業内容

野宿者をはじめとする生活困窮者の生活・医療に関する相談に応じる。本事業は以下の 4 つの活動領域で構成する。

①事務所生活相談　　②炊き出し相談・巡回相談

③福祉事務所への同行支援　④継続支援事業（医療機関との連携事業協力）

（イ）　実施予定日時、（ウ）実施予定場所、（エ）従事者の予定人数、（オ）受益対象者の範囲及び予定人数は以下の表の通り。

従事者）　職：専従職員　　バ：バイト　　ボ：ボランティア

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定対象者数
①事務所生活相談	事務所での生活相談・家計相談の実施	月・金：10 時～12 時半 水：13～15 時半	当法人事務所	職 2 名	相談者延べ 1600 名
②炊き出し相談・	炊き出し会場や河川敷等への訪問を通じた医	木：18:30～21 時 第 2 日:9 時半～11	炊き出し会場や公園・河川敷	ボ 10 名	相談者延べ

巡回相談	療生活相談の実施	時半 第 4 土曜日：21:00 ～	等 名古屋駅周辺		1000 名
③福祉事務所への同行支援	福祉事務を訪れる際に同行し、手続きの方法等に関する相談を実施	金：9 時半～12 時半	中村区福祉事務所	ボ 7 名	相談者延べ 40 名
④継続支援	継続的な支援をするため、精神科訪問診療への職員の出向、植田寮訪問や関係機関同行等を実施	随時	当事者宅、関係機関等	職 1 名 ボ 5 名	相談者 40 名

（カ）収入見込み額

1,632 千円

（キ）支出見込み額

5,172 千　円

（内訳）

給料手当 3,433,000 円、通勤費 172,000 円、諸謝金 231,000 円、印刷製本費 52,000 円、会議費 163,000 円、旅費交通費 167,000 円 、通信通話料 222,000 円、水道光熱費 76,000 円、家賃 495,000 円、賃借料 13,000 円、保険料 20,000 円、消耗品費 128,000 円

イ　地域生活支援・居場所づくり事業

（ア）事業内容

野宿者をはじめとする生活困窮者が居宅での生活に移行した後、地域で孤立することなく健康で文化的な生活が営めるよう、事務所もしくは公共施設等で交流会を実施したり、ニュースレターを発行したり、アパート訪問活動を行ったりする。

本事業は以下の 2 つの活動領域で構成する。

①交流会　　②アパート訪問活動

実施予定日時、（ウ）実施予定場所、（エ）従事者の予定人数、（オ）受益象者の範囲及び予定人数は以下の表の通り。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定対象者数
①交流会	孤立防止として食事会や	2 回／月	事務所やコミ	職 1 名	参加者延

	交流会、当事者企画（何やろ）、みちくさカフェ、オリーブの会を実施		ュニティセンター等	ボ 10 名	べ 150 名
②アパート訪問活動	居宅生活者の孤立防止、定着支援として、アパート等への訪問を実施	20 件／月	居宅生活者のお宅	ボ 20 名	延べ 130 名

（カ）収入見込み額

71 千円

（キ）支出見込み額

1,200 千円

（内訳）

諸謝金 26,000 円、印刷製本費 156,000 円、会議費 8,000 円、旅費交通費 72,000 円、郵便運送費 495,000 円、物品資材費 202,000 円、消耗品費 171,000 円、賃借料 70,000 円

ウ　就労支援事業

（ア）事業内容

就労につながるための支援を行う。本事業は以下の 1 つの活動領域で構成する。

①就労準備支援

実施予定日時、（ウ）実施予定場所、（エ）従事者の予定人数、（オ）受益対象者の範囲及び予定人数は以下の表の通り。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定 対象者数
①就労準備支援	居宅生活者のボランティア活動による「お手伝い隊」活動や駄菓子屋販売を実施	お手伝い隊：3 回/月 駄菓子：2 回/月	事務所・地域社会等	ボ 20 名（当事者）	従事者と同様

（カ）収入見込み額

150 千円

（キ）支出見込み額

355 千円

（内訳）

諸謝金 22,000 円、印刷製本費 10,000 円、会議費 18,000 円、旅費交通費 44,000 円、物品資材費 84,000 円、消耗品費 109,000 円、賃借料 68,000 円

エ　居住支援活動事業

（ア）事業内容

野宿者をはじめとする生活困窮者が居宅での生活を営めるように住居支援を行う。

本事業は以下の 2 つの活動領域で構成する。

①中間施設運営　②シェルターの運営

実施予定日時、（ウ）実施予定場所、（エ）従事者の予定人数、（オ）受益対象者の範囲及び予定人数は以下の表の通り。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定 対象者数
①中間施設運営	アパート生活移行を支援するために「ステップハウスみちくさ」を運営	通年	事務所	ボ 6 名	入居者 5 名
②シェルターの運営	関係機関と連携をして居住場所の提供がメインとなるシェルターを運営	通年	中村区内のアパート	ボ 5 名	入居者 20 名

（カ）収入見込み額

3,390 千円

（キ）支出見込み額

3,042 千円

（内訳）

給与 187 千円、水光熱費 334 千円、家賃 1,494 千円、賃借料 15 千円、保険料 840 千円、消耗品 8 千円、物資資材費 4 千円、修繕費 160 千円

オ　啓発・啓蒙事業

（ア）事業内容

野宿者をはじめとする生活困窮者に対する理解を深めるとともに、会員及びボランティアメンバー拡大を図ることを目的に、市民向けの講演会等を開催する。

（イ）実施予定日時

年 1 回程度（2 月頃）を予定。

（ウ）実施予定場所

名古屋市内の公共施設等

（エ）従事者の予定人数

ボランティア 20 名

（オ）受益対象者の範囲及び予定人数

一般市民 10～100 名

（カ）収入見込み額

0 円

（キ）支出見込み額

100 千円

（内訳）

諸謝金 30 千円、印刷製本費 5 千円、旅費交通費 20 千円、消耗品費 5,000 円、賃借料 30 千円

カ　その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

本事業は以下の活動領域で構成する。

①アフターフォロー事業「あしたば」

②学習支援「Smyle」

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者	予定対象者数
アフターフォロー事業「あしたば」	一時保護所退所者向けのの相談支援・生活支援 生活保護受給世帯への家計相談	月～金曜	居宅生活者のお宅	職・バ 8 名	150 世帯
学習支援「Smyle」	生活保護世帯の中学生を対象に無料学習会を実施	毎週水・金曜日 18 時～20 時	名古屋市内の公共施設等 3 か所	バ 40 名	50 名

（カ）収入見込み額

39,914 千円

（キ）支出見込み額

41,727 千円

（内訳）

給料手当 28,740 千円、通勤費 1,060 千円、諸謝金 696 千円、印刷製本費 167 千円、旅費交通費 3,336 千円、通信通話料 1,370 千円、水道光熱費 180 千円、家賃 1,749 千円、賃借料 1,163 千円、保険料 189 千円、業務委託費 1,624 千円、雑費 620 千円、研修費 260 千円